

学習指導案の形式（例） 小学校体育科

第○学年○組 体育科学習指導案

令和○年○月○日（○）第○校時 ○○教室 指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○○（学年）

◇まとまりをもった教育内容の単位の名称を書く。学習指導要領A～Gそれぞれの記号が教育内容の単位に当たる。Gの内容は、3～6学年の保健領域である。

2 単元の見どころ

- (1) 「知識及び技能」に関する目標（例：～できる。） [知識及び技能]
- (2) 「思考力、判断力、表現力等」に関する目標（例：～できる。） [思考力、判断力、表現力等]
- (3) 「学びに向かう力、人間性等」に関する目標（例：～しようとする。） [学びに向かう力、人間性等]

◇学習指導要領の目標及び内容（指導事項）を踏まえて設定する。
 ◇ねらいを明確にするために（1）～（3）の文末には、〔資質・能力名〕を明記する。ただし、保健領域で「技能」がない場合は〔知識〕と書き、〔技能〕を削除する。
 ◇児童の立場で書く。

3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	① 例：～している。「知識」 ② 例：～できる。「技能」	① 例：～している。	① 例：～しようとしている。 ② 例：～している。 「健康・安全」
学習活動に即した評価規準	◇「知識・技能」については、「知識」の評価規準と「技能」の評価規準に分けて設定する。「思考・判断・表現」については、「思考・判断」の評価規準と「表現」の評価規準に分けて設定する。「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準は、「愛好的態度、公正・協力、責任・参画、共生、健康・安全」の各項目に分けて設定する。 ◇当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項の文末は、技能については「～できる。」、知識、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の「健康・安全」については「～している。」、主体的に学習に取り組む態度の「健康・安全」以外については「～しようとしている。」と表記して作成する。		

4 指導と評価の計画（全○時間）

次	時	ねらい・学習活動	評価規準及び評価方法
一	1	○例：～できる。 ○例：～の見通しをもつ。～を書く。 ◇ねらいを明確にして書く。 ◇児童の立場で書く。	[観点①]（方法） ○例：～している。 ～しようとしている。
	2		◇「3 単元の評価規準」の観点と一致させ、番号でつなげて書く。

5 指導上の立場

- 単元観
- 児童観
- 指導観
- 研究主題との関連

◇指導者の立場で書く。

◇単元観…本単元で身に付けさせたい資質・能力、その単元を取り上げる意義や単元と児童の関係等を書く。
 ◇児童観…本単元に関する興味・関心、資質・能力の状況、既習事項の定着度等について書く。本単元において目指す児童の姿等を書く。
 ◇指導観…指導・支援の重点、学習形態、その他の配慮事項等、児童のよさや可能性を生かすような指導方法の工夫等を書く。
 ◇研究主題との関連…研究主題の説明を簡潔に書き、研究主題と授業における指導方法の工夫等との関連等を書く。

(1) 本時の目標
例：～することができるようにする。

◇「2 単元の目標」「4 指導と評価の計画」との整合を図る。
◇本時の評価規準との整合を図る。
◇児童の立場で書く。

(2) 展 開

学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
1 ◇児童の立場で書く。	○ ◇指導者の立場で書く。	◇児童の立場で書く。
2 (1) ◇活動に順序がある場合は、(1)(2)で書く。 (2) 例：～について話し合う。 ◇導入・展開・終末の学習過程に沿って、児童の学習活動を具体的に書く。 ◇授業展開「岡山型スタンダード(授業5)」を参考にする。	○ めあて ◇児童の目的意識のまとまりを踏まえて、何をどのように学ぶのかを明確にして本時のめあてを書く。 ○例：～することで、～できるようにする。 ◇学習活動に沿って、指導・支援の意図、指導方法の工夫等について留意すべきことを具体的に書く。 ・児童が主体的に学習を進めるための手だて ・児童が対話的に学習を進めるための手だて ・児童が学習を深めるための手だて ・児童一人一人の学習状況に応じた手だて ・予想される児童の反応 ・資料提示のタイミングや方法 ・効果的な学習方法や学習形態の工夫・準備物等 ◇学習活動と教師の指導・支援との関わりを対応させて書く。 ◇「努力を要する」状況(C)と判断される児童への手だてを書く。	◇本時の目標と整合し、具体的・抽象的・文言・実言・評価可能なレベル・具体化する。 ◇評価の場面は1、2箇所に絞る。 ◇評価規準に合わせて、評価の観点・記名を明確にする。 ◇評価方法を具体的に書く。
3		○例：～している。 [評価の観点] (評価方法)
4	○ まとめ ◇本時に何を学んだのかが分かるように整理し、本時のめあてと対応したまとめを書く。	◇評価方法の例 ・発言の内容 ・行動の観察 ・ノート、ワークシートの記述等
5	○ ◇学習の成果が自覚できる振り返りの視点を明確にして書く。振り返りの視点は、『岡山型学習指導のスタンダード【増補版】授業改善「一歩先へ！」』を参考にする。	

◎「おおむね満足できる」状況(B)と判断する児童の姿 例：～している。

◇本時の評価規準に照らして、本時でねらう児童の姿について、想定される児童の発言や記述例等を取り入れながら具体的に書く。なお、ここに挙げる具体的な児童の姿が、どのような指導によって表れるのか等、指導と評価のつながりを意識して書く。